

昭和61年
5月5日

第42号

発行 守 谷 町 議 会
編集 守 谷 町 議 会 事 務 局
TEL 02974⑤1111(内56)
茨城県北相馬郡守谷町大字守谷
甲631-1

もりやまち

議会だより

（も）（く）（じ）

- ① ページ
- ② ページ
- ③ ページ
- ④ ページ
- ⑤ ページ
- ⑥ ページ

議決された内容
予算のあらまし
施政方針
一般質問
請願・陳情ほか



松ヶ丘公園開園記念テニス教室（4月29日）

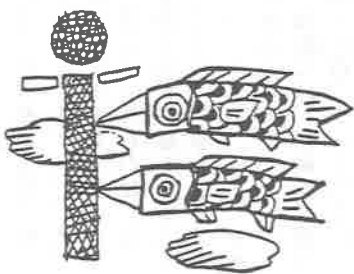
61年度予算が成立

第1回定例会開かれる

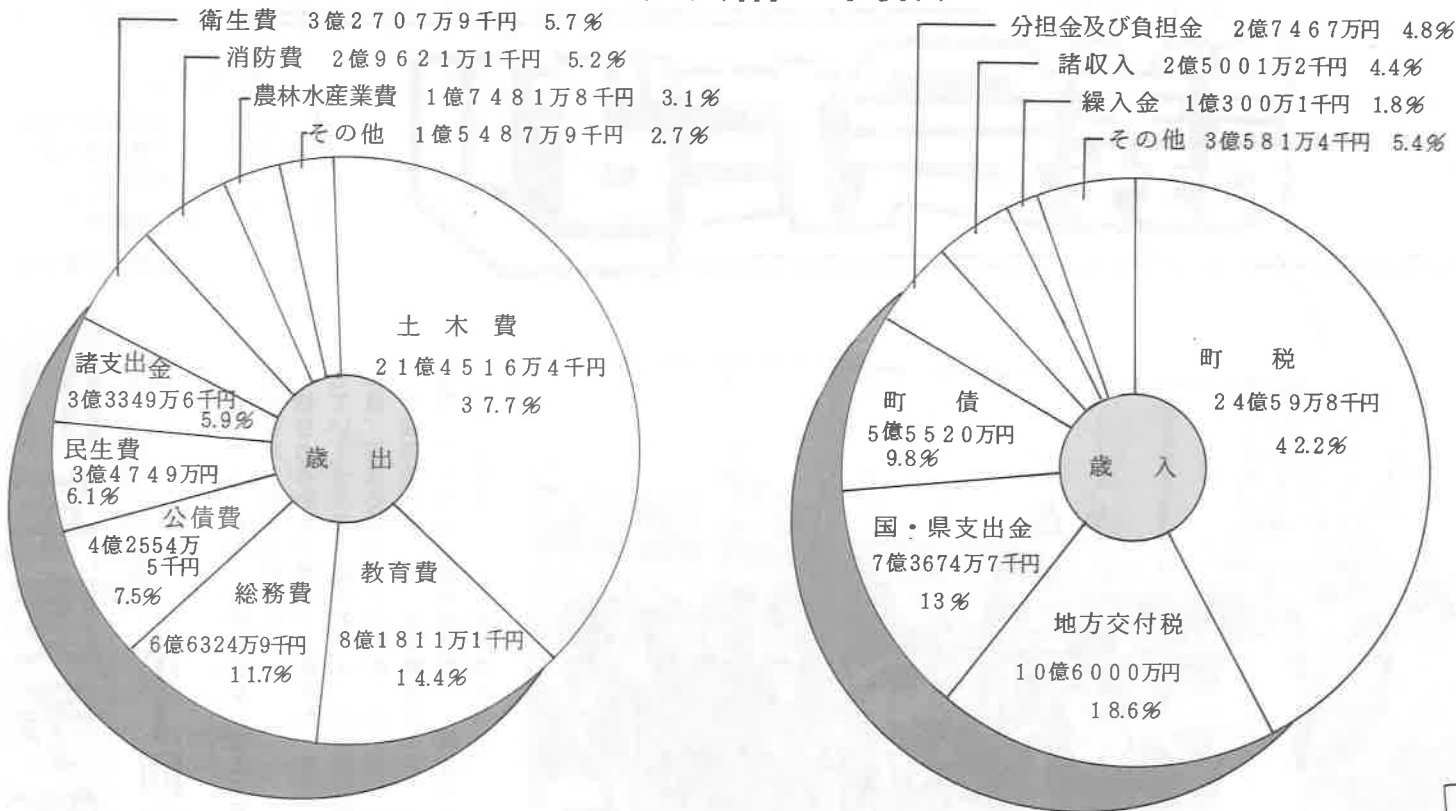
昭和六十一年第一回定例会が、去る三月十一日から二十二日まで、十二日の会期で開かれました。
初日の本会議で議案が上程され、また、町長から向う一年間の町政を運営していくうえでの基本的考え、施政方針が述べられました。十八日、十九日には、五名の議員により町政に関する一般質問が行われました。
今回の定例会には、報告事項及び六十一年度予算をはじめとする町長提出議案二十七件と、委員会条例の一部改正など議員提出議案三件が上程され、いずれも原案どおり可決されました。

第1回定例会の 議決された 内容

- 昭和六十一年度一般会計予算（五件）
関係記事は二ページに掲載してあります。
- 監査委員の選任同意
○ 渡邊淳吾（63歳 新）
- 補正予算
昭和六十一年度一般会計補正予算
水道企業会計補助金、郷州小学校・愛宕中学校屋内運動場及び御所ヶ丘中学校プール・格技場買収費、財政調整基金積立金、給与改定に伴う人件費などを増額し、老人保健特別会計繰入金、自治金融借入利子補給住宅費、消防施設費などを減額するもの。
補正予算額＝二億三千三百三十六万六千円。
補正後の予算額＝五十七億四千八百八十八万一千円。
- 昭和六十一年度公共下水道事業特別会計補正予算
入札差金等により建設事業費が減額され、その受益者負担金充当額と受益負担金徴収率向上による増収額を下水道整備基金に積立てるもの。その他、人事異動や給与改定に伴う人件費の補正などが主なもの。
補正予算額＝百五十万五千円。
- 昭和六十一年度国民健康保険特別会計補正予算
給与改定による人件費及び退職者医療費などの増額、老人保健拠出金は、拠出金額の確定により減額。
補正予算額＝一千五百八十六万七千七百七十九円。
補正後の予算額＝七億四千六百五十一万九千九百七十九円。
- 昭和六十一年度老人保健特別会計補正予算
一般会計繰入金と医療費の伸びによる医療給付費の増額。給与改定に伴う人件費の組替えなど。
補正予算額＝二千八百五十四万四千円。
補正後の予算額＝五億六千三百七十三万六千円。
- 昭和六十一年度水道事業会計補正予算
水道料金改定に伴う給水収益、分担金収入の増、県企業局の施設拡充事業の遅れに伴い当町に送られなかった水の代金が減額。入札差金等による企業債の減額。事業計画の変更等に伴う工事負担金及び建設改良費の減額など。
補正後の予算額＝十億一千四百三十三万四千円。
- 条例制定
● 守谷町公共施設整備事業基金条例
開発行為等に伴う事業主の公共施設整備負担金を基金として積み立て、将来の事業に備えるもの。
● 区域外における公の施設の設置に関する協議
みずき野屋外駐輪場は、一部取手市が含まれているため、取手市との協議により設置するもの。
- 条例改正
● 守谷町課及び所設置条例
企画財政課を「企画課」と「財政課」にそれぞれ独立させ、また、今まで住民課所管であった民生係と厚生課所管であった国民年金係による「福祉課」を新設し、厚生課を「保険衛生課」に改めました。さらに同和対策室を総務課から独立させました。
- 守谷町職員定数条例
都市化による行政需要の増加等に備えるため、職員定数の枠を二百三十七人から二百五十九人に変更するのが主な内容。
- 守谷町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例
● 教育長の給与、勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例
近隣市町村との均衡を失しないよう特別職報酬等審議会に諮問し、その答申を尊重したもの。
- 報告事項
○ 昭和六十一年度の公害の状況及び公害防止に関して講じた施策等を町長から報告された。
- 議員提出議案
● シベリア抑留者の恩給加算改訂に関する決議
● 同和対策の充実、強化を求める意見書
● 守谷町議会委員会条例の一部を改正
- 守谷町都市公園条例
有料公園施設として松ヶ丘公園内のテニスコートを追加するもの。
- 守谷町運動公園の設置及び管理に関する条例
守谷町運動公園の使用を有料化するもの。
- 守谷町消防団条例
特別職報酬等審議会の答申により、消防団役員の報酬を改定するもの。
- 守谷町職員の給与に関する条例
国家公務員の給与改定に伴い、町職員の給与を改定するもの。
- 請負変更契約
● 町営住宅建設工事第一工区
地質状況により、基礎杭を一五メートルから一三メートルに変更するもの。
契約金の変更減額分
＝二十八万二千元。



一般会計の内訳



予 算 総 額		89億1451万9千円
内 訳	一 般 会 計	56億8604万2千円
	公共下水道事業会計	9億7743万5千円
	国民健康保険会計	7億8421万6千円
	老人保健会計	6億994万3千円
	水道事業会計	8億5688万3千円

最小の経費で最大の効果をめざして

予算のあらまし

町政の向う一年間の仕事の計画書——昭和六十一年度各会計予算が成立しました。予算総額は八十九億一千四百五十一万九千円で、前年度当初と比較して約一・四パーセントの伸びとなっています。予算案の審議にあたっては、一般会計を総務、教育厚生、産業経済、建設の各常任委員会に部門別に付託し、また、国保会計、老人保健会計、水道事業会計を教育厚生委員会に、下水道事業会計を建設委員会にそれぞれ付託しました。

委員会では、町執行者に対しきめ細かな質疑を行い、慎重な審議を経て最終日の本会議に報告され、各会計とも原案どおり可決しました。

一般会計

予算総額は五十六億八千六百四十二千円で、前年度当初と比較して九・八パーセントの伸びとなっています。

本年度は、昨年度に引き続き国庫補助金の引き下げ等があり、非常に厳しい財政状況にあります。このようなかで、行政改革大綱に準じて徹底した行政の簡素合理化が図られ、重点施策についても厳しく選択されています。

歳入

町税は、人口の増加に伴う町民税、固定資産税の上昇が見込まれ、前年度当初と比較して一四・七パーセント伸びています。地方交付税においても、基準財政需要額である国勢調査人口の増加により二四・七パーセント伸びています。

国庫支出金三二・二パーセントの減は、農林水産業費及び土木費国庫補助金の減額によるものです。その他、開発行為による寄附金、町営住宅建設等に伴う基金繰入金、町債などが増額されています。

歳出

歳出では、総務費において、常磐新線及び町づくり対策の諸経費が計上され、一・一パーセント伸びています。また、事務のOA化、電子計算委託の増により、事務の合理化が図られています。

民生費は、地域福祉推進計画策定経費及び町社会福祉協議会への助成金の増により三・一パーセント伸びています。衛生費は一七・六パーセント伸びていますが、これは各種検診の強化と水道会計補助金の増によるものです。

のです。農林水産業費は、国庫補助事業の減少により三三・一パーセントの減となっています。

土木費七・八パーセントの伸びは、町道整備事業、町営住宅建設事業が主なもので、消防費一九・六パーセントの伸びの主なものは、広域消防負担金と消防施設の整備です。

教育費では、守谷中学校増築工事、立替施行による御所ヶ丘小学校増築工事等により六・六パーセント伸びています。諸支出金は、庁舎建設基金と土地取得費の増により八九パーセントの伸びとなっています。

下水道会計

予算総額は、九億七千七百四十三万五千円で、前年度当初と比較して二八・三パーセントの減となっています。これは住宅都市整備公団委託工事及び主要管渠建設工事などの事業が、現計画に対してほぼ完成したことに由来するものです。

本年度も下水道財政を取り巻く環境は厳しいものがあり、このような状況下において、汚水面整備事業では、第三期賦課区域の整備促進と受益者負担金の徴収率向上、さらに水洗化の普及促進に努め、維持管理部門でも、夜間は自動運転とし処理費の正常化を図るなど、下水道事業運営の適正化に向けた経費の軽減、効率化が図られます。

国保会計

予算総額は七億八千四百二十一万六千円で、前年度当初に比べ一四・一パーセントの伸びを示しています。しかし財政状況は、退職者医療制度の対象者数に対する国の大幅な見込み違い、国庫負担の引き下げ、さら

に老人保健拠出金が大幅に増えたこと等により、大変厳しいものとなっています。歳入の主なもの、国民健康保険税三億五千九百九十二千円、国庫支出金三億八百二十六万二千円、その他繰入金などです。

歳出では、保険給付費四億八千二百二十一万六千円、老人保健拠出金二億四千四百四十二万二千円が主なものです。また、保健施設費では、昨年にひきつづき人間ドック検診料の一部助成金が計上されました。

老人保健会計

予算総額は九億九千九百九十四万三千円で、前年度当初に比べ二八・八パーセントの伸びとなっています。

歳入では、支払基金交付金四億一千三百八十八万五千円、国・県支出金一億四千七百六十万円が主なものです。

水道会計

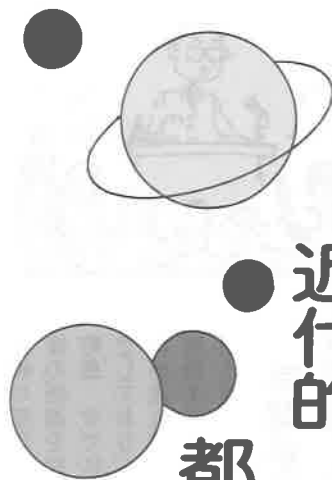
本年度は、水道事業の管理強化及び財政の立て直しにより、営業収益の拡大が推進されるとともに、工事面では、配水管増・改良工事による細分整備が行われ給水サービスの向上が図られます。

収益的収入四億八千六百六十七万五千円、支出六億百四十三万二千円で、差額は内部留保資金で補てんされます。

また、資本的収入二億二千九百九十六万二千円、支出二億五千五百四十五万一千円で、この差額は、繰越工事資金で補てんされます。

近代的、文化的な 都市づくりをめざして

町長の昭和61年度 施政方針（要旨）



生活基盤を整備する ための施策

(1) 水道事業

本町は、首都圏近郊整備地帯に位置し、水と緑に恵まれた自然条件と発展条件を備えております。このような好条件を背景に、北守谷・南守谷・みずき野など各住宅団地の熟成化を図るとともに、自然と人との調和ある町づくりを目指して、昭和六十一年度の町政に対する所信の一端を申し上げたいと存じます。

昭和六十一年度の予算編成にあたりましては、特に重点課題として、常磐新線建設促進事業の推進、地域福祉推進計画の策定、健康づくり推進事業への積極的な取り組みを行うとともに、産業振興策としての土地盤整備・工業団地の造成を行います。また、消費構造の多様化に伴う大型店舗の導入も図ります。更に、町道整備事業の積極的な推進や町営住宅建設事業の継続的な実現、消防施設の整備にも努めます。教育文化高揚策の一つとして、学校施設の近代化に努め、老朽校舎の解消に一層の力点をおきます。役場庁舎の建設については、庁舎建設基金の積極的な積み立てを実現し、新庁舎の早期建設に取り組んでまいります。

また、公園については、住民の憩いの場として利用されると共に、スポーツ・野外活動等多様化する住民の要望に応えるべく、施設の整備、維持管理に努めます。町水道に未加入の一般家庭、各種団体、民間企業に対し積極的に加入促進を図り、同時に併用使用者に町水道への切り替え等を促進いたします。

(2) 公共下水道事業

受益者負担金賦課区域内の処理区域拡大のため汚水面整備工事を推進し、生活環境保全及び流入汚水量確保に努めると同時に、維持管理部門においては、作業の効率化により経費の削減に努めるなど、事業の適正化に向けて努力いたします。

(3) 南守谷駅東口の整備

昭和六十二年四月の開業を迎え、住宅公団側と東口側の調和と格差是正を図るため、駅前広場の整備をします。

(4) 安全対策

消防施設の充実と団員の技術の向上、土気の高揚を図るため、操法訓練、規律訓練等を実施します。また、広域消防との連携を密にし、町民の防火意識の高揚に努めます。

(5) 交通安全

交通事故防止運動、交通安全教育等を通じて安全意識の高揚に努めると共に、交通安全施設の整備を図ります。

(6) 教育文化を高めるための施策

青少年の健全育成と施設の充実

(7) 町づくりの基本は、人づ

くりが最も大切であるとの考えに立って、学校教育においては児童生徒指導の強化を図り、人権尊重の教育に努めます。

(8) 施設面では、守谷中学校

の教職員室、その他の増築工事を行い、他校との教育施設の均衡を図ります。また、北団地内の児童の増加に対応するため、御所ヶ丘小学校の増築工事を行います。

(9) また、計画的な農道の整備

と大野土地改良区及び青生沼土地改良区の営農圃場整備事業を促進し、農地の高度利用、効率的利用による生産性の高い農業の確立に努めます。

(10) 水田利用再編対策事業の

推進にあたっては、飼料作物・麦・大豆等転作の定着化に努めます。

(11) 消費人口の増加、需要の

多様化、高度化に対応した魅力ある近代的商業施設の整備を図ります。また、地元中小企業の健全なる発展に資するため、自治金融、振興金融の利子補給、融資の拡大を行います。さらに、産業構造の変化に伴う就労の場の確保のため、工業団地の建設をめざします。

(12) 健康と生活環境を守るための施策

健康管理

(13) 健康相談、健康教育等を

実施し、病気になるないための予防や保健習慣を浸透させ、疾病の予防、早期発見に努めます。特に本年度は、胃がん・子宮がん検診の対象者全員に対して個人通知を実施し、受診率を高めます。

(14) 福祉の向上を推進するための施策

地域福祉の推進

(15) 福祉をとりまく社会環境

の変化に対応するため、町民の連帯意識の高揚を図り、理解と協力を得ながら計画的、総合的に地域福祉の推進を図るとともに、社会福祉協議会の充実と住民参加による地域福祉の確立をめざします。

(16) 高齢化社会の一員として

の理解と協力を得ながら、健康増進のためスポーツの振興をはかります。

(17) また、一人暮らし、ねたき

り老人等に対し、健全で安らかな生活を営むことができれば、町政の推進に努めます。

(18) 医療面では、四月から常

給地域における二次救急病

(19) 院群の輪番制を引き、医療

体制の充実を図ります。

(20) 生活環境

酒沼や河川の汚濁が大きな社会問題となっている現在、特に生活系排水による汚濁の発生源とならないよう各関係機関と連絡を密にし、水質維持と保全を図ってまいります。

(21) また、守谷町環境美化の

日を設定以来、町民の皆様の特段の御協力により、その成果も上がりつつあり、さらに御協力を願う生活と密着した事業としてきれいな街づくりに努力いたしたいと存じます。

(22) 住宅及び誘致施設販売

促進連絡協議会の設置

(23) 住宅及び企業の進出促進

のため、公的機関、各種団体及び民間を含めた連絡協議会を設置し、町のイメージアップ作戦とキャンペーン運動を筑波周辺の企業、研究機関等へ展開し、町の活性化をはかります。

(24) 守谷東土地地区画整理

事業組合の設立

(25) 永年の懸案であったこの

地区も、住民各位の努力により、いよいよ組合設立の運びとなり、これらの事業の進捗に対し、土地地区画整理法にそって、組合設立認可申請までに要した費用の一部を助成いたします。

(26) 行財政を合理化する

ための施策

(27) 常磐新線の答申により、

当町の大きな変貌が予想され、新線の受入体制の整備が急務と考えられます。そこで事務事業を見直し、組織機構の一部改正を行い、多様化する行政需要に対応してまいります。また、地域社会の活性化及び住民福祉の増進のため地方行政改革大綱を策定いたします。さらに、職員の適正な配置及び給与水準の適正化に努めるとともに研修による質的向上と服務規律を厳正にし、常に綱紀粛正に努め、事務の効率的な運営を図ってまいります。



(3) 道路・公園の整備

主要道路、生活関連道路の整備改善を計画的に推進すると同時に、道路台帳の整備を年次計画によって行います。取手西口北守谷線の全面開通を目途に努力い



(1) 農業の振興

各種補助事業を活用し、農地の流動化、集積化及び中核担い手農家の育成、婦人農業者の技術向上を図り、地域農業の確立に努めます。

(2) 産業を振興する

(3) 社会体育、文化活動の一

(4) 層の充実を図り住民のコミ

(5) ユニケーションを活発にす

(6) るため、各小中学校の屋内

(7) 体育施設を開放し、さらに

(8) 町民体育祭、芸術祭等を通

(9) じて、体力の増強、文化の

(10) 向上、住民融和に努めます。

(11) 健康と生活環境を守る

(12) ための施策

(13) 健康管理

(14) 健康相談、健康教育等を

(15) 実施し、病気になるないた

(16) めの予防や保健習慣を浸透

(17) させ、疾病の予防、早期発

(18) 見に努めます。特に本年度

(19) は、胃がん・子宮がん検診

(20) の対象者全員に対して個人

(21) 通知を実施し、受診率を高

(22) めます。

(23) 福祉の向上を推進

(24) するための施策

(25) 地域福祉の推進

(26) 福祉をとりまく社会環境

(27) の変化に対応するため、町

(28) 民の連帯意識の高揚を図り、

(29) 理解と協力を得ながら計画

(30) 的、総合的に地域福祉の推

(31) 進を図るとともに、社会福

(32) 祉協議会の充実と住民参加

(33) による地域福祉の確立をめ

(34) ざします。

(35) (2) 生きがいと幸せを高める

(36) 社会福祉の増進

(37) 高齢化社会の一員として

(38) の理解と協力を得ながら、

(39) 健康増進のためスポーツの

(40) 振興をはかります。

(41) また、一人暮らし、ねたき

(42) り老人等に対し、健全で安

(43) らかな生活を営むことがで

(44) きるよう家庭奉仕員を派遣

(45) し福祉の増進に努めます。

(46) 医療面では、四月から常

(47) 給地域における二次救急病

(48) 院群の輪番制を引き、医療

(49) 体制の充実を図ります。

(50) 生活環境

(51) 酒沼や河川の汚濁が大きな

(52) 社会問題となっている現在、

(53) 特に生活系排水による汚濁

(54) の発生源とならないよう各

(55) 関係機関と連絡を密にし、

(56) 水質維持と保全を図ってま

(57) いります。

(58) また、守谷町環境美化の

(59) 日を設定以来、町民の皆様

(60) の特段の御協力により、そ

(61) の成果も上がりつつあり、

(62) さらに御協力を願う生活と

(63) 密着した事業としてきれ

(64) いな街づくりに努力いたし

(65) たいと存じます。

(66) 住宅及び誘致施設販売

(67) 促進連絡協議会の設置

(68) 住宅及び企業の進出促進

(69) のため、公的機関、各種団

(70) 体及び民間を含めた連絡協

(71) 議会を設置し、町のイメー

(72) ジアップ作戦とキャンペーン

(73) 運動を筑波周辺の企業、

(74) 研究機関等へ展開し、町の

(75) 活性化をはかります。

(76) 守谷東土地地区画整理

(77) 事業組合の設立

(78) 永年の懸案であったこの

(79) 地区も、住民各位の努力に

(80) より、いよいよ組合設立の

(81) 運びとなり、これらの事業

(82) の進捗に対し、土地地区画

(83) 整理法にそって、組合設立

(84) 認可申請までに要した費用

(85) の一部を助成いたします。

(86) 行財政を合理化する

(87) ための施策

(88) 常磐新線の答申により、

(89) 当町の大きな変貌が予想さ

(90) れ、新線の受入体制の整備

(91) が急務と考えられます。そ

(92) こで事務事業を見直し、組

(93) 織機構の一部改正を行い、

(94) 多様化する行政需要に対応

(95) してまいります。また、地

(96) 域社会の活性化及び住民福

(97) 祉の増進のため地方行政改

(98) 革大綱を策定いたします。

(99) さらに、職員の適正な配置

(100) 及び給与水準の適正化に努

(101) めるとともに研修による質

(102) 的向上と服務規律を厳正に

(103) し、常に綱紀粛正に努め、

(104) 事務の効率的な運営を図っ

(105) てまいります。



町民と共に考える行政

一般質問

5名登壇 3月18・19日

第一回定例会における一般質問は、去る三月十八日、十九日の二日間にわたって行われました。

今回の通告者は、浅野議員、西巻議員、中村議員、松本議員、岡田議員の五名で、町行政の諸問題について熱のこもった質問が行われました。

工業団地計画と 専用地区整備を早期に！

浅野 進議員

浅野議員 現在、工業専用地区（愛宕割）において実際に企業が活用している面積は、全体の約三〇パーセントほどである。今後は、固定資産税、法人税等による財源確保や町民の就労の場を確保するために、早期に道路、排水等の整備を進め、積極的な企業の誘致を図ってほしい。

町長 現在、道路拡幅に伴う用地買収を進めており、その実現のため一層努力していきたい。

浅野議員 ①公団施行による工業団地（野木崎・大木地区）計画と②大野川の改修について現状を伺いたい。

企画財政課長 ①公団と協議を行った結果、整備の手法は区画整理事業によるが、できれば全面買収で進めたいということ。また、地元説明会を新年度早々予定しています。

助役 ②大野川の改修については測量を完了し、近く用地買収をする段階になっています。用地買収は、年次計画により、大野土地改良区の圃場整備事業と平行して実施していきたい。

浅野議員 内守谷工業団地内における水海道市との境界線の変更について、その後の経過を伺いたい。

町長 すでに話し合いは成立しており、市側の事務処理が遅れているが、六月定例会までには変更できるものと考えています。

区画整理事業

浅野議員 ①守谷東土地区画整理事業と同時に守谷駅周辺の再開発を考えると必要があると思うがどうか。

②また、この区画整理事業による宅地開発は、固定資産税、住民税等による町の財源確保につながるもので、町としても、この事業の実現に向けて、可能な限り財政援助をすべきではないか。

都市計画課長 ①減歩率の多い守谷東土地区画整理事業の区域内に、守谷駅周辺を含めるとなると、さらに減歩率が増えることになり、非常に問題があります。したがって守谷駅周辺の整備については、当区画整理事業と平行して、行政の指導のもとに進めていきたいと考えています。

②区画整理事業の調査設計については、行政が行なうのが建前となっているが、当区域は、大半が市街化調整区域であるため、一部負担が妥当であろうと考えています。

常磐新線

浅野議員 常磐新線計画のその後の経過を伺いたい。また、新線の建設に伴い懸

交通安全対策

浅野議員 ①都市計画道路（取手西口・北守谷線）の本宿一乙子間が開通されることに伴い、乙子地区の県道の交通量は、かなり増えると思われるが、この道路は非常に狭く、通学路でもあるので、その安全対策をどう考えるか。

②また、この都計道の大利根有料橋入口までの開通は、いつ頃になるか。

総務課長 ①人命尊重を念頭に、役場内部、さらに取手警察とも協議しており、乙子地区の県道との交差点については、横断歩道、一時停止の標識、路面表示、案内板等の設置を考えています。

建設課長 乙子地区の県道の安全対策については、県の方に早急な改善を要望するとともに、町としても現地を踏査し、児童生徒の安全を図りたいと考えています。

都市計画課長 ②六十一年度改良工事、六十二年舗装工事、そして六十四年四月に供用開始する予定になっています。



取手西口北守谷線、乙子地内交差点

高齢者対策の 充実・強化をはかれ

西巻健治議員

西巻議員 町で実施している諸々の老人福祉施策をより活用していただくために、それらの諸施策のガイドブックを作成したらどうか。

住民課長 現在策定中の地域福祉推進計画の中に取入れ実施していきたい。また、町報なども活用していきたい。

西巻議員 町ではよく寝たきり老人の介護者に対する講演会等を実施しているが、実際に介護者の中には、講演を聞きたくても出席できない方もいるので、そうい

施政方針について

西巻議員 町長の施政方針に関連して次の点を伺いたい。

①守谷町は大規模な宅地であるが、工業団地等の開発により、樹木の緑が減りつつある中で、行政側として生活環境における緑の大切さを十分認識し、その保全に全力をあげてもらいたい。どうか。

②「もの」の豊かさから「ところ」の豊かさを求める傾向

施政方針について

西巻議員 町長の施政方針に関連して次の点を伺いたい。

①守谷町は大規模な宅地であるが、工業団地等の開発により、樹木の緑が減りつつある中で、行政側として生活環境における緑の大切さを十分認識し、その保全に全力をあげてもらいたい。どうか。

②「もの」の豊かさから「ところ」の豊かさを求める傾向

施政方針について

西巻議員 町長の施政方針に関連して次の点を伺いたい。

①守谷町は大規模な宅地であるが、工業団地等の開発により、樹木の緑が減りつつある中で、行政側として生活環境における緑の大切さを十分認識し、その保全に全力をあげてもらいたい。どうか。

②「もの」の豊かさから「ところ」の豊かさを求める傾向



薬師台に建設中の町営住宅

施政方針について

西巻議員 町長の施政方針に関連して次の点を伺いたい。

①守谷町は大規模な宅地であるが、工業団地等の開発により、樹木の緑が減りつつある中で、行政側として生活環境における緑の大切さを十分認識し、その保全に全力をあげてもらいたい。どうか。

②「もの」の豊かさから「ところ」の豊かさを求める傾向

中学校については、人口の減少地域のみで守谷町は該当しません。また、中卒無職者については、中学校卒業当時は少ないが、高校の中途退学者に非行の問題が生じやすく、その解決策には苦慮している状況です。

清掃事業

西巻議員 最近、ごみ処理の手数料を徴収している自治体が増えていますが、当町の場合は、今までどおり無料を進めていくのか。

町長 一般家庭ごみは無料

北団地の熟成化に積極的手法を！

中村 力議員

中村議員 公団等の入居がかなり遅れているが、その入居促進についての考えを伺いたい。

町長 これから常磐新線が路線の発表などにより具体化されてくれば、公団の入居も促進されると思われる。また公団内の民地の活用についても積極的に取り組んでいきたい。

中村議員 施設方針の中に「住宅及び誘致施設販売促進連絡協議会を設置する」とあるが、どのような組織づくりをするのか。

都市計画課長 県の住宅課、公団、町、国際科学振興財団、三井不動産、町内業者代表等による組織づくりを検討しており、開発団地への入居と企業の進出を促進していきたい。

中村議員 北団地内のショッピングセンターは開店の見通しがついたが、同時に在来店の活性化についても行政の配慮が必要であると思うがどうか。

町長 商工会においても十分検討していただき、町と

を進めていきたい。

西巻議員 現在、空びんは再生資源として広域の環境センターに搬入しているが、今後は町独自で積極的に回収し、リサイクルによる地元への還元を図ってもらいたい。

厚生課長 空びん等の有価資源を環境センターに搬入せず町独自で処理することにより、広域への負担金が軽減され、さらに地元へ還元されることにもなるので十分考えていきたい。

中村議員 北団地内では、緑豊かな街並を育てるために、各家庭の任意協定により自ら植栽をしていただいているが、行政側としてもこのような緑化運動の一層の充実を図ってもらいたい。

都市計画課長 今後、増築等による隣地とのトラブルも懸念されるので、それらを未然に防ぐため、法的制度である建築協定の締結を進めています。これには地区全員の同意が必要であり非常に苦慮しているが、今後緑化を含めた住環境の保全のため努力していきたい。

中村議員 公団等の入居がかなり遅れているが、その入居促進についての考えを伺いたい。

中村議員 宅地や工業団地など新しく造成された土地については、課税強化を猶予し、住宅あるいは企業が張り付きやすい状況をつく



緑化が進む街並（久保ヶ丘）

常磐新線

中村議員 町長は、将来の町づくりのために有効な土地利用が図れるような常磐新線の位置づけをしたいというところだが、その作業を進めるための組織づくりをすべきではないか。

町長 現在、学者を含めたまちづくり懇談会により専門的な立場から、町としての受け入れ体制を研究しています。さらに今後は、町の有識者等を含めた町をあげての組織づくりをしなければならぬと考えています。

中村議員 国道二九四号線を境にして南西側は、区画整理事業の関連により住環境が整いつつあるが、反対に東北側の整備は非常に遅れているので、この地域格差の是正を図ってもらいたい。

地域格差の是正

中村議員 国道二九四号線を境にして南西側は、区画整理事業の関連により住環境が整いつつあるが、反対に東北側の整備は非常に遅れているので、この地域格差の是正を図ってもらいたい。

町長 東北側の整備については、常磐新線や守谷東土地画整理事業などを絡めた総合的な町づくり計画をたてて進めていきたい。

水道事業

中村議員 水道企業会計の健全化に向けて、水道の消費拡大を図っていくのとこのことだが、やはり赤字原因の根本である責任引取制の見直しにより重要であり、その見直しのため県の企業局に対して積極的に交渉してもらいたい。

庁舎問題

中村議員 役場庁舎の建設に際しては、位置づけと移転に伴う跡地の利用が重要である。特に跡地利用については、その地域がむしろ発達していくような計画を

示し、そして新庁舎の位置づけを誰もが納得できるように今のうちから積極的に検討していくべきではないか。

町長 庁舎建設については、六十一年度から本格的に取り組んでいきたい。跡地利用についても地域の活性化に歯止めのかからない施設をつくりたいと考えており、今後、振興計画や町づくり計画の中に取り入れて検討していきたい。

行財政の合理化

中村議員 町長は施政方針の中で「多様化する行政需要に対応し、地域社会の活性化及び住民福祉の増進を図るため、地方行政改革大綱を策定する」という趣意があるが、今後どのような手順

非核平和都市宣言で積極的な平和運動を望む

松本明子議員

松本議員 現在、全国で九百以上の自治体で非核平和都市宣言をしているが、守谷町においてもこの宣言をすることにより積極的な平和運動を進めてもらいたい。

町長 日本は世界有数の平和国家であり、この様な状況の中で、あえて平和宣言をする必要があるのか問題であるので今後の検討課題とします。

保育ママ制度

松本議員 経済的理由により、産後後どうしても働かざるを得ないお母さん方が増えているが、保育所には生後六ヶ月にならないと預けられないので、その間の保育に苦慮している状況がある。児童福祉法によると国及び地方公共団体は、保護者とともに児童育成の責

を進めていくのか。

助役 地方行政大綱の策定にあたっては、現在、役場各課の要望を取りまとめ、事務事業の見直しを検討中であり、さらにこれを行政改革懇談会にかけて策定したいと考えています。

中村議員 町の機関である審議会などの委員として公務員が入っているケースがあり、一般の委員と同額の報酬を支給しているが、これは公費の二重支給になる。今後、行革を進めるにあたっては、このような矛盾を改善し、財政の合理化を図るべく果敢たる実行力が必要ではないか。

町長 報酬全般的な見直しに波及し難しい問題であるが、検討課題としたい。

同和行政

松本議員 この度、守谷町では同和対策地区を拡大指定したというところだが、地域改善対策特別措置法の有効期限が残り一年となった今になって、なぜ地区拡大をするようになったのか。

助役 昭和五十年に行われた調査の補完調査をし、当該地区において啓発活動や事業施策が必要と判断して地区拡大の申請をしました。また、組織の要請もありました。

松本議員 拡大地区の同和対策事業については、個人的な偏見と地域的な偏見

地主主義のどちらで進めていくのか。

助役 属地主義を進めたいと考えています。

松本議員 同和対策事業による個人給付の場合に、埼玉県や神戸市のように所得制限を設ける考えはあるか。

助役 現在のところは考えていません。

松本議員 拡大地区の同和対策事業は多額の費用を要

常磐新線建設計画に対する町の対応について

岡田光雄議員

岡田議員 常磐新線の建設は、将来の町発展のために大切な事業であり、次の点を町当局に要望しておきたい。

産業廃棄物

①常磐新線は、第三セクターによるものと思われるが、その場合の受益者負担の問題等を整理してもらいたい。

②新線計画と併せた道路の整備、さらには関東鉄道やバス路線との関連を含めた総合的な交通体系の充実を図ってもらいたい。

③新線計画を実現するためには、地域住民の理解と協力が必要であるので、可能な限り、住民に対する情報の提供をお願いしたい。



不法投棄された産業廃棄物

し、個人給付も伴ってくると思われるので、それらの事業が適正であるかどうか、公正な立場から判断できる同和対策審議会を設置したらどうか。

町長 公正な判断のできる審議会というものは必要であらうと考えます。また議会においても十分検討していただきたいと思います。

臨時会の開催

去る二月二十一日、第二回臨時会が開催されました。審議案件は福祉バスの購入など三案件で、いずれも原案のとおり可決されました。また、四月二十一日には第三回臨時会が開かれ、専決処分承認やマイクロバスの購入など、七案件が可決されました。

第2回臨時会

●昭和六十年度一般会計補正予算
国庫補助金の確定により農業振興費を増額するもの。補正予算額＝三百四十二万六千円。

●財産（福祉バス）の購入
現在の福祉バスが、六年

第3回臨時会

●専決処分事項承認（三件）
○守谷町税条例の一部改正
国会において地方税法及び租税特別措置法等の一部改正が可決成立したことに伴い、守谷町税条例の一部

を改正するもの。
主な内容は、個人町民税の非課税限度額の引き上げと、たばこ消費税に係る従量割の引き上げです。

○都市計画税条例の一部改正
地方税法の一部改正に伴うもので、主な内容は、職業訓練用に供する家屋及び償却資産に係る都市計画税の軽減措置の期間が延長されるもの。

●昭和六十一年度一般会計補正予算
機構改革に伴う予算の組み替えが主なもの。

●財産（マイクロバス）の購入
現在のマイクロバスが八年運行し故障も多くなったので、安全を期して買い替えるもの。
購入金額＝九百四十八万円。定員＝二十八人

●常磐新線建設促進まちづくり対策特別委員会の設置
常磐新線の建設促進及び新線を軸として整合のとれたまちづくりを推進していくために、議会内に特別委

●守谷町消防団条例の一部改正
消防団員の定数区分の変更であり、本部員を「七名」から「八名」に増員し、団員を「二〇五名」から「二〇四名」に減員するもの。

●昭和六十一年度一般会計補正予算
機構改革に伴う予算の組み替えが主なもの。

●財産（マイクロバス）の購入
現在のマイクロバスが八年運行し故障も多くなったので、安全を期して買い替えるもの。
購入金額＝九百四十八万円。定員＝二十八人

●常磐新線建設促進まちづくり対策特別委員会の設置
常磐新線の建設促進及び新線を軸として整合のとれたまちづくりを推進していくために、議会内に特別委

員会を設置し調査検討していくもの。
○委員会の構成
委員長 浅野 進
副委員長 寺田 達
委員 塚原栄一
松丸照雄
飯塚 操
松本明子
相良泰助
岡田光雄

請願・陳情をなさる方へ!!

——提出期限にご協力を——

請願（陳情）書には、趣旨、提出年月日及び請願者（陳情者）の住所、氏名を記載し押印のうえ、下記の記載列に従い提出してください。連名のときは末尾に署名簿を添えてください。（陳情については紹介議員の必要はありません）

記載列	（表紙）	（内容）
紹介議員 ○○○○○○○に関する請願書 請願者 住所 氏名 （連名の場合は、代表者名を記載し他○名とする）	○○○○○○○に関する請願 請願の趣旨 上記の通り請願いたします。 守谷町議会議長 殿	

●請願・陳情の提出期限について
請願・陳情の提出期限の取扱いについては、昭和60年6月17日の議会運営委員会において、議会運営効率化及びより以上の慎重審議を図るため、下記のとおり、申し合わせ事項が成立いたしましたので、請願・陳情をなさる方は、できるだけ早めに提出されるようお願いいたします。

●議会運営申し合わせ事項
請願・陳情の取扱いに関しては、議会（定例会）招集前の議会運営委員会開催前日までに受理した案件については当該議会において審議するも、それ以降に受理した案件については次期議会まで議会事務局において預り置くものとする。但し、議長が早急に処理すべきと認めるものについてはこの限りではない。



みなさんから出された 請願・陳情

○シベリア抑留者の恩給加算改訂に関する請願（大字高野一六五七 倉持 昇氏ほか二五四名）
シベリア抑留は長期かつ苛酷な強制労働を伴ったものであり、恩給加算を一年につき三年と改訂されるよう関係機関に働きかけてもらいたい。（採択）

○同和対策の充実・強化を求める陳情（部落解放愛する会茨城県連合会 執行委員長 高橋忠吉氏）
部落差別の早期解決にむけて、同和対策の充実強化に関する意見書を関係行政庁に提出してもらいたい。（採択）

○学校事務職員と栄養職員の「義務教育費国庫負担法」適用除外に反対し、併せて

すでに除外された経費の復元を求める請願（伊奈町豊体二一 杉浦照雄氏ほか二六名）
標記職員が適用除外されれば、次は教職員へ拡大されるのは必至であり、各自自治体の財政力により職員の身分、教育条件に不均衡が生じ、さらには自治体の財政負担の増大を招きます。よって、これらに反対する意見書を関係大臣に送付願いたい。（継続審査）

○向原地区生活道路整備に関する陳情（大字守谷甲一五六一 三 橋本哲夫氏ほか一四名）
当住宅地へ消防自動車等の緊急車両が進入できるように、道路の整備を願いたい。（採択）



保護者としての責任感

——中学一年生の男の子がスーパーで万引をしてガードマンに見えられ、事務所に連れていかれました。連絡を受けて駆けつけた母親は真っ先に「いくらですか？」と「盗品」の値段を聞ききました。そして財布を出してお金を払い、「これでいいんでしょ」と、あいさつもそこそこに、子供を連れてその場を立ち去りました。半ば、あつ気にとられて二人の後姿を見送るガードマンの耳に、次のような母親の言葉が飛びこんできました。「どうせ取るなら、もっとうまくやればよかったのに」と子供に向かって言っているのです。ガードマンがすぐさま二人のもとに駆け寄ったことはいまでもありません。このまま帰しては後あとのためによくない、と思ったからです。子供は警察で調査を受けました。

■母親の意外な言葉
このお母さんは、お金さえ払えば「一件落着」と考えているようですが、こうすることが子供のためだと本気で思っているのです。人のものを盗むのはよくないことであり、どうしてわが子がそのようなことをしたのか……といった罪の意識に思い悩むことも、それほどなさそうです。

万引で呼び出されたお母さんの多くが最初に口にするのは、意外にも「学校や警察に連絡されることはないでしょうね？」であり、子供に対しては「ここの話にしてはおかからね。二度とこんなことはしないでね」という「なぐさめ」の言葉であることが多いとい

編集後記

抜けるような青空、さんさんと降りそそぐ太陽の光、頬をなでるかぐわしい風、どれをとっても明るいのが五月です。ゴールデンウィークが終わると心がしずみがちになるようですが、さわやかな新緑のごとく気分を一新したいものです。さて、本町も期待の六十一年度がスタートしました。財政難とは言われますが、着実に新しい町が形成されつつあります。皆さんの声でよりよい守谷町を